

カメムシの発生は一部で多発！
地域によって発生量の差が大きく、要注意！

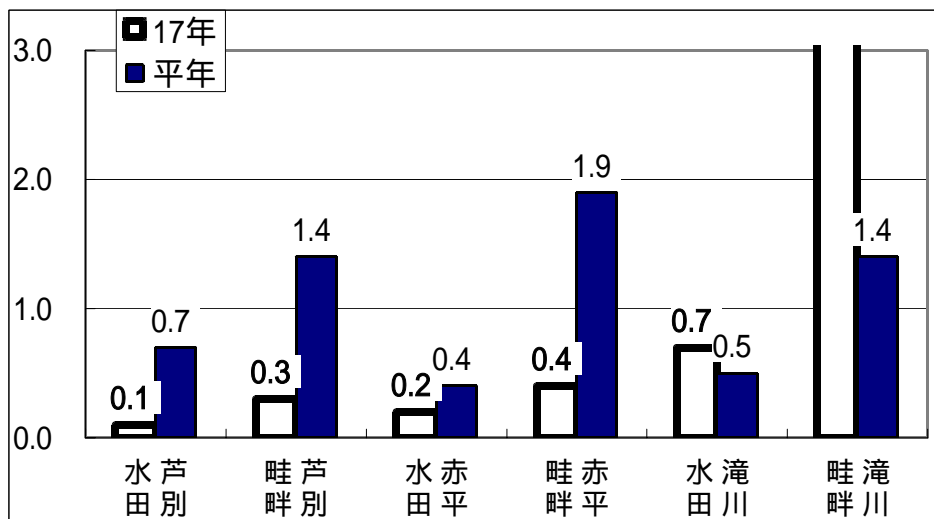
J A たきかわ 営農部
空知東部地区農業改良普及センター

カメムシの発生状況 ……一部で多発傾向

表 - 1 カメムシ捕獲状況 (7 / 17 関係機関調査)

	芦 別 市		赤 平 市		滝 川 市	
	畦 畔	水田内	畦 畔	水田内	畦 畔	水田内
H17年	0.3頭	0.1頭	0.4頭	0.2頭	5.4頭	0.7頭
平年値	1.4	0.7	1.9	0.4	1.4	0.5

20回振り
当たり平均
頭数



カメムシの発生は、一部では多発しており、カメムシの生育差（若齢幼虫～成虫までバラツキが大きい）地域間、ほ場間での発生量の差が大きい状況です。各自で発生予察を行いながら、適期・適量防除と隣接地の環境清掃も含めた対策が必要です。

カメムシ対策 出穂期～揃いの防除適期を逃さない！

各ほ場の出穂状況を確認して、出穂期～揃いに殺虫・殺菌剤の防除を実施しましょう。

遅くとも出穂前に、畦畔、農道、周辺雑草地の草刈りを終了させる。

今年はワキ（土壌還元）の強いほ場が多い！ほ場全体で止葉が7割揃ったら、直ちに中干しの実施を！

葉いもちに要注意！各自ほ場の観察をし、葉いもちを確認したら、直ちに防除を！

葉いもちが出ていない場合は、

第1回目の防除（いもち・カメムシ）は、出穂期～揃い

第2回目の防除（いもち・カメムシ）は、その後7～10日後

第3回目の防除（カメムシ）は、その後7～10日後

表 - 2 幼穂形成期、止葉期からみた出穂期の予測

	幼穂形成期	止葉期	出穂期
ほしのゆめ	6/27	7/14	(7/23)
きらら397	6/29	7/16	(7/25)
平年値	6/30	7/17	7/26

(空知東部管内、成苗：5/26～5/30移植)

平年値はきらら397

ほ場の出穂状況・葉いもちを観察し、タイミング良く防除しましょう。

防除間隔7～10日間は、気温が高い時はカメムシの吸汁活動が活発になるので、間隔は短めにしましょう。

第3回目の防除は、すくい取りを行い、要否を判定しましょう。